

オンライン講座「福祉と当事者のリアル」

昨年度に引き続き、北海道医療大学と共同し、寄付講座「福祉と当事者のリアル」を開講いたします。

本講義を行う背景として、福祉を学ぶ学生のほとんどは、当事者や支援者との出会いが大学3年次の実習となっており、入学時には、さまざまな福祉のリアルに触れる機会がないことが実情としてあります。昨年度は、もともと教員志望で入学した大学生が、認知症当事者にご出演いただいた番外編(学生のみ参加)の視聴後、夏休みを使って高齢者ボランティアに参加したり、学生同士で視聴後の振り返りを行ったりと、講義を聞いて終わりではなく、自ら動き、視野を広げていく若者の姿もありました。

●お問い合わせ

本講義にご興味のある方は、下記連絡先まで「福祉と当事者のリアル 視聴希望」とご連絡お待ちしております。

kikaku@yu-yu.or.jp

なお、既に終了している講義につきましては、配信等の対応は致しかねますのでご了承くださいませ。

ゲスト

- 「コロッケを知らないこども〜こども食堂と貧困〜」
湯浅誠氏、二本松一将氏(5月8日)
- 「未来がすりつぶされる若者」 野澤和弘氏、向谷地生良氏(5月15日)
- 「普通の人になるための人生はやめた」 広野ゆい氏(6月12日)
- 「認知症が社会をケアする」 町永俊雄氏、丹野智文氏(6月26日)
- 「3代目ギャン素の物語〜ギャンブル依存症から自分の生き方を見つめる〜」
田中紀子氏(7月10日)
- 「癌がわかった日」 鎌田守氏(7月24日)

ぺこぺこのはたけにも春の風

5月の小鉢御膳は、春の訪れを存分に感じることができます。山菜をたっぷり使ったお浸しや、雪の下人参のスープ、ふきのとうコロッケを楽しめます。豚しゃぶは浅野農場の豚肉で、甘味があって美味しいですよ。小鉢御膳はもちろんテイクアウトも対応しております。



テイクアウトのお弁当は、週替わりでご用意。照り焼きチキンやチキン南蛮が大人気です。こちらのお弁当は600円で、完全予約制となっております。



評議員 江口正尊様 訃報のお知らせ

社会福祉法人ゆうゆうの評議員でもあり、学生ボランティアセンター立ち上げ時から多大なご尽力をいただいた北海道医療大学名誉教授の江口正尊氏(ご逝去されました。享年74歳でした。まだまだ早すぎる死とあまりにも突然の別れであったため、いまだに現実を受け止められずにいます。いつもスタッフを気にかけて叱咤激励していただきました。退官されて当別を離れたあともそれは変わることがありませんでした。数あるいただいた言葉で印象的な教養は、「驕るなかれされど誇れ」。この言葉を胸にこれからも精進していきたいと思ひます。ご冥福を心よりお祈りいたします。



Donation 寄付について

ゆうゆうの活動にご支援をお願いします

●社会福祉法人への寄付について

私たちの考え方、事業に共感していただける皆さまからのご寄付を受け付けています。超少子高齢・人口減少社会などの社会課題に対し、「ひとりの想い」を大切にする福祉実践を展開し継続した活動をするためには、皆さまの力が必要です。ぜひ活動へのご支援をお願いします。

領収書について

寄付金控除を受けるには、「寄付金」の但し書きのある領収書が必要です。当法人発行の領収書をご希望の方は、お電話又はWEBお問い合わせフォームからご依頼ください。

TEL:0133-22-2896
<http://yu-yu.or.jp/contact/>



1 個人の場合 2 法人の場合 3 相続による寄付の場合

所得税の寄付金控除が受けられます。

一般の寄付金とは別枠で、法人税法上の損金算入ができます。

租税特別措置法により相続税が非課税となることがありますのでご相談ください。
※個人で適用を受けるためには確定申告が必要です。



YOU YU MAGAZINE

ゆうゆうマガジン



場所：北翔大学 撮影：工藤了



理事長メッセージ

YOU YOU MAGAZINEが発刊されて1年が経ちました。

社会福祉法人 ゆうゆう 理事長 大原 裕介

ゆうゆうのことを知ってもらい、欲を言えば、応援してもらいたいと思い発刊したYOU YOU MAGAZINEは、皆さんのお支えもあって2年目を迎えることができました。福祉というものがそもそも分かりにくいのに、ゆうゆうは様々な事業展開をしているので分かりにくさに拍車がかかっています。限られた紙面でしたが、創意工夫をして、少しでも多くの情報をお届けしたところです。インターネットによる情報が主流となり、「紙物」による情報発信は軒並み減りつつあるなかで、手にとり「紙物」だから伝えることができる温かみのある情報誌をこれからも目指し続けていきたいと思っています。

さて、昨年度の情報のほとんどが新型コロナウイルスに関するものばかりでした。サービスはもちろんのこと、研修や採用活動はほとんどがオンラインでの開催となり、食

に関する事業は業態変更を余儀なくされ、ゆうゆうにとっても試行錯誤する1年でした。ただ、それでも私たちは、医療機関と連携を育み、多くの方々から学びを得て、感染リスクが高い利用者に対する日々のケア、発熱症状のある利用者には時に隔離施設を活用しながら、緊張感の高いサービス運営に努めてきました。おかげさまで、クラスターを起こすことはなく、リスクを最小限に留めることができました。働くスタッフは本当にがんばっています。海を渡り、北海道へきてくれた職員たちはこの1年実家にすら帰ることができていません。日々の緊張感を吐き出す場も時間も自粛で奪われてしまいました。しかしながら、それでもzoomなどのテクノロジーを活かし、ゆうゆうならではのコミュニケーションスタイルを構築し、互いに励まし、労うことにより、その成果かどうか推し量れないところがあ

りますが、北海道のスタッフ離職率は0%でした。感謝の気持ちしかありません。

今年度の紙面の多くがやはり新型コロナウイルスに関するものが残念ながら多くなってしまう情勢です。果たしてこの先どうなるのか？誰しもが見通しを読めないなかで不安な生活を送っています。しかしながら、私たちは、誰しもが不安な生活を送る社会の中でこそ果たすべき役割を持つ専門職であると思っています。下を向かず、ひとりでも多くの人たちに寄り添うことができるよう責務を全うしていきたいと思っています。その実践の一端をYOU YOU MAGAZINEでご紹介できれば幸いです。皆様におかれては、今後も変わらないご声援をお送りいただければ幸いです。

新入職員紹介

新卒採用職員



湯澤 喬宏

所属: Social Apartment 大森こぼと
出身大学: 日本社会事業大学

ゆうゆうの行動指針「とにかくやってみます」に惹かれ、縁もゆかりもない北海道にやってきました。あえて目標を持たず、眼の前のことを「とにかくやってみる」一年にしていきたいと思っています。



上農 茜

所属: 当別就労支援生活介護事業所にきよき
出身大学: 関西学院大学

ゆうゆうのことは大学の課題として読んだ本で知り、4月に関西から北海道に引っ越してきました。利用者の皆様との日々を大切に、毎日色々な発見をしながら成長していけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



前田 望来

所属: 地域生活支援 amaririsu
出身大学: 新潟県立大学

職員の皆さんの雰囲気がとても素敵で、皆さんと一緒に働きたいと思い、富山から参りました。多くのことを学び、考えて子どもたちとともに成長できたらと思います。これからよろしくお願ひいたします。

新卒採用職員



田中 勇輝

所属: 地域生活支援 ヘルパーステーションajisai
出身大学: 北海道教育大学函館校

ゆうゆうとの出会いは、多くの法人が集まる採用合同説明会の中で一際新しいチャレンジへの意欲を感じ、その一員になりたいと思い入職しました。関わる利用者さんが多いので、皆さんと信頼関係を築き、一緒に考えられる人になれるよう、日々精進します！



田中 祐樹

所属: 地域生活支援 ヘルパーステーションajisai

新しい環境や出会いを求めてた際にゆうゆうを知り、一年間準職員として働いて参りましたが、今年度より正職員として働き始めます。より利用者さんと深く付き合っていきたい、人との繋がりを大切にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



堀田 智尋

所属: 地域生活支援 ヘルパーステーションajisai

準職員として約2年勤め、今年度から正職員になりました。地域で暮らすことの大切さ、関わる方の思いを叶えるべく、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

中途採用職員

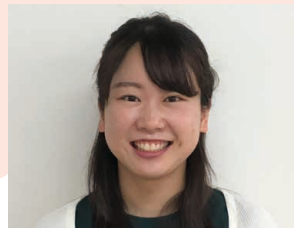


古桑 佳奈

所属: 品川事業部 品川児童学園
児童発達支援センター

児童発達支援クラス通園を担当します保育士の古桑です。今までの経験を活かしながら、子どもたちと一緒に楽しいことをたくさん見つけていけたらと思います。よろしくお願いいたします。

中途採用職員



長岡 清美

所属: 品川事業部 品川児童学園
子ども発達相談室

子ども発達相談室に配属になった公認心理師の長岡です。お子さんによって様々な発達の状況を捉え、お子さんと保護者がより安心して日々を過ごせるよう一緒に考えていきます。目の前のお一人お一人に寄り添えるよう努めますのでよろしくお願いいたします。

Pâtisserie Ruelle パティシエのご紹介



荒谷 康司

Pâtisserie Ruelle パティシエ



昨年12月からPâtisserie Ruelleでパティシエとして勤務を開始し、3月から正職員となりました。札幌市に生まれ、専門学校卒業後は道内のホテルに就職、その後東京での修行を経て、結婚を機に北海道へUターン。道内のパティスリーやレストランでの勤務を経験した後、昨年度、子育てをしながら今までの経験を活かせる仕事に就きたいと考えていた時期にPâtisserie Ruelleと出会い、迷いなく応募しました。

今まで「福祉」との関わりはありませんでしたが、数か月この現場に携わせて頂き、利用者さんやスタッフの皆で力を合わせてお菓子を作る工程に、「人との繋がり」から楽しさを感じているところです。例えば、クッキー一つをとっても、私が焼いて、利用者さんが商品シールを貼り、アルバイトの主婦や学生がラッピングをして販売、それを地域の方が購入してくださいます。



この様に商品一つにも人の繋がりがあり、より良い商品をお客様に販売できるよう協力しあうことが今までになかった「楽しさ」と感じているところです。今後も買ってくださいの方にとっても、働いている仲間にとっても、より良いお店を作っていきたいと考えていますので、これからもRuelleを宜しくお願い致します。皆様のご来店を心よりお待ちしております！

北海道医療大学へ就職しました！

昨年11月に開始した「就労継続支援A型事業所 U-Garden」で働いていた高山凌さんが、4月1日付で北海道医療大学の職員として雇用され新たなスタートを切りました。高山さんは、これまで働いてきた太美銘泉やべこべこのはたけでの経験と正確で丁寧な仕事ぶりが評価され、今回は2017年から働いている田村準起さんに続き大学内の用務を担う職員として働くことになりました。清掃活動はもちろんですが、定期的な換気業務は構内の感染症対策の一躍を担っているだけではなく、すれ違う学生や教職員に「おつかれさまです！」と笑顔で声をかける姿は今後大学の新しい日常になる予感です。先輩である田村さんからも仕事を教わりながら、1つ1つ仕事を覚えていきます。



お仕事は順調です。
楽しいです！

高山凌さんから
お仕事について
コメントを頂きました。



高齢者の「はたらく」の実現に向けて

今年度4月1日より、地域生活支援部の新井和也が介護事業推進担当となり、当別町内の地域密着型通所介護「デイサービスセンターふくろうの森(株式会社海)」に出勤しています。何歳になっても役割をもって活躍したい、と願う多くの地域の高齢者の想いに応える就労支援を実現していくための第一歩として、要介護高齢者のケアの現場で日々利用者さんと接しています。これまでゆうゆうで培ってきた障害のある方へのケアの技術と地域に密着した多様な就労の展開に、介護分野のケアの理念・知識を組み合わせることで、認知症のある方でも当たり前地域で活躍する姿があらこちらで見られるような町の風景を創っていくことにチャレンジしていきます。



新卒採用活動2022 仲間との出会いを目指して

今年度4月1日より、6名の職員が新たに仲間入りしたところですが、来年度の春を見据えて「新卒採用活動2022」が始動いたしました。都道府県をまたぐ移動は今後も難しい状況にあるため、昨年に引き続き実施方法は全てオンラインを予定しております。現在までに北海道・東北・関東の学生19名からエントリーを受け付けました。直接事業所に来所して見学や実習は行えませんが、理事長講話や現場職員との面談を通して、当法人の理念や取り組みを伝えています。各現場の若手・中堅職員とプロジェクトチームを組み、コロナ禍における就職活動という学生の不安に寄り添いながら、お互いに納得のいく就職・採用を目指していきます。



地域の風景を
クリエイトする仕事。

採用単独説明会

3/18 13:00-15:00
3/24 13:00-15:00
4/7 13:00-15:00
13:00 START@Online

社会福祉法人ゆうゆう